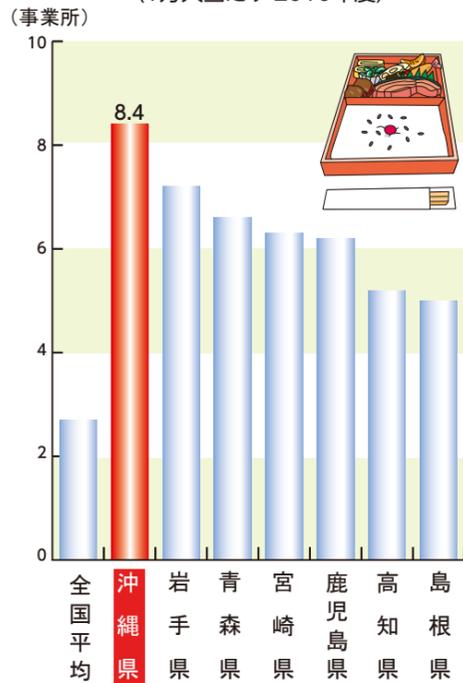


【そうざい製造業事業所数】

(1万人当たり・2010年度)



8.4事業所

街に出ると日常的によく見かける、そうざい・弁当屋や天ぷら屋の看板。店に立ち寄ると、ちょっとしたおやつ感覚で楽しめるそうざいも多い。

厚生労働省「2010年度衛生行政報告例」によると、許可を要する食品関係営業施設数によると、沖縄県のそうざい製造業の事業所数は1,193事業所。人口1万人あたりに換算すると8.4事業所。これは、全国1位の水準だ。

伝統的な沖縄の家庭料理から、創作料理的なもの、地元の素材をふんだんに使い手づくりこだわりのものなど、まちやぐわーには、様々な「お惣菜屋」が立ち並ぶ。

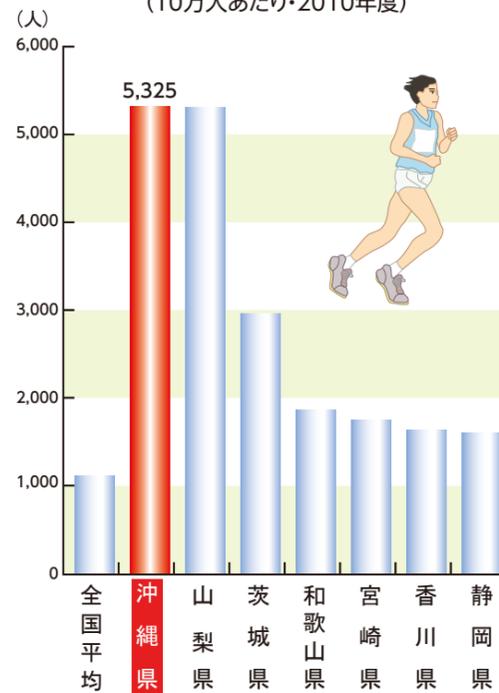
揚げ物や煮付けばかり売っている店もあれば、沖縄天ぷらの専門店もあり、なかには、とにかくなんでも有りという店も。

誰もがいつでも気軽に楽しめる、ご当地グルメといったところだろうか。

(海邦総研経営企画部／新里治史)

【マラソン大会出場者数】

(10万人あたり・2010年度)



5,325人

毎年12月の第1日曜日はNAHAマラソンの開催日だ。例年2万人以上が参加する国内でも大きな大会の1つ。最近では、全国的に市民マラソンへの参加者数が増加傾向にあるようだ。

株式会社計測工房の調査によると、国内で5,000人以上が参加する大型のマラソン大会は146もあり、うち県内は6となっている。

146大会の出場者数を大会開催都道府県ごとに集計し、人口10万人あたりに換算すると、沖縄は5,325人と全国1位の水準となっている。河口湖マラソンで有名な山梨県もほぼ同水準だが、他県に比べると極めて多いのがわかる。

職場で多くのマラソン大会出場者がいるのもうなずけるのではないだろうか？沖縄はこれからマラソンに最適な季節を迎える。マラソンの本場沖縄。未経験者も今冬はジョギングから、まずは始めてみてはいかがだろうか。

(海邦総研経営企画部／中山禎)

【HV自動車補助金交付件数】

(1万人あたり・1998～2009年)



5.7件

最近では街中でもよく見られるようになり、あまり珍しくなくなったHV(ハイブリッド)自動車。それでも沖縄県内の普及率は1.0%未満と、意外にもそれほど多くはないようだ。

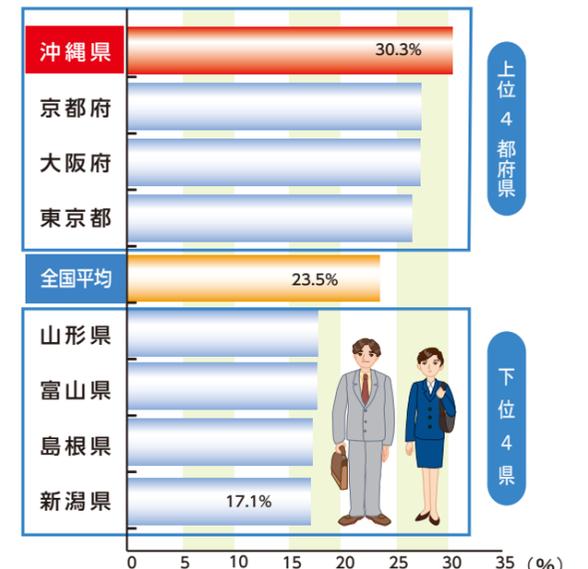
社団法人次世代自動車振興センター「クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金の交付状況」によると、沖縄県の1998～2009年までの12年間におけるハイブリッド自動車補助金交付件数は788件、人口1万人あたりに換算すると5.7件で、全国で最も低い件数だ。交付件数の最も多いトヨタ自動車のお膝元、愛知県の25.6件と比較すると、4分の1以下である。

今年から再び実施されることが決まった新たなエコカー補助金制度。せっかくの補助金制度だが、利用率が低いのはもったいない。この機会に、エコカー補助金対象車の購入を検討してみてもいかがだろうか。

(海邦総研経営企画部／上江洲龍)

【就業希望者率】

(2007年)



30.3%

県内の雇用について考えるとき話題になることが多い完全失業率。県においても全国並みの水準に下げることを目指して「みんなでグッジョブ運動」を推進中だ。

総務省「2007年就業構造基本調査」によると、15歳以上で現在は仕事をしていないが働くことを希望している就業希望者数は、県内で14万7,400人。普段仕事をしていない人の中で占める割合(就業希望者率)は、30.3%となり全国でトップだ。就業希望者のうち実際に求職活動を行なっている人の割合も54.4%と、全国と比較して最も高い割合となっている。

就業を希望する人の割合が高く、実際に就職活動を行なっている人が多いことから、就業への熱意がある県民が多いと読み取ることもできそう。就職活動が実際の仕事に結びつき、失業率が改善していくことを期待したい。

(海邦総研経営企画部／島田尚徳)